



工事部 **ドヴァン ティエン**

インタビューテーマ

**夢**

**ベ**トナム社会主義共和国（以下、ベトナム）出身のドヴァン ティエンさん。2015年に技能実習生として株式会社藤栄設備へ入社しました。以来、工事部に所属し、日々現場で活躍しています。日本の生活にも慣れてきたティエンさん。子どものころのエピソードやプライベートの過ごし方、会社や仕事への思いから、ティエンさんの人柄に迫ります。

**夏休みが楽しみだった子ども時代**

日本に親近感を覚えたのは、ベトナムと日本の学校制度が似ていることが一つの要因でした。ベトナムでは小学校が11歳までの5年間、中学校が14歳までの4年間で、この9年間が義務教育です。その後、高等学校に進学した場合は追加で3年間学び、18歳で卒業します。勉強内容も日本と同様で、高等学校までに学ぶことは一般的な教科が中心です。

日本と違うのは、夏休みが2か月あるところ。小学生のころは毎年、「早く夏休みが来ないかな」と待ち望んだものです。夏休みになると、魚釣りに出かけたり、サッカーをしたりして、思う存分遊ぶことに集中しました。もちろん、社会人になった今では、あんなに長い休みはとれないため、たまに学生時代を懐かしく思います。

**日本へ行くため勉強に励んだ日々**

初めて来日したのは2015年、私が26歳の時です。以前から

「外国人技能実習制度」を利用して、日本で働きたいと考えていました。ただし、日本のどの会社で、どんな仕事をしたいかなど、具体的なことはなにも決めていません。とにかく日本語を話せるようになろうと、ベトナムにある日本語学校に通い、約半年間、必死になって日本語の習得に勤しんだのを覚えています。

日本へ行くチャンスをつかんだのは、ベトナムに来た藤栄設備の社長が面接の機会を設けてくれたおかげです。日本への思いが伝わったのか、入社が決まり、技能実習生としての生活が始まりました。来日直後は、慣れない日本の暮らしや習慣に戸惑うことも多々ありましたが、仕事だけでなく、生活するうえで必要なことも、会社の方が丁寧に教えてくれました。特に社長と専務には大変お世話になり、感謝しかありません。

**日本で味わう至福のひとつ**

今では、日本での仕事や生活にもだいぶ慣れ、私と同じように日本で働いているベトナムの友人もたくさんできました。休日には、

その友人の部屋に行って料理をしたり、お酒を飲んだりしてリフレッシュしています。お酒はあまり得意ではないのですが、お互いの仕事の話を花を咲かせながら過ごすのは、とても楽しい時間です。日本の食材を使って、ベトナムの料理も作れるようになりました。現地でも人気の牛肉を入れたフォーも、よく作っています。

新型コロナウイルスが流行する前は、毎年社員旅行があり、それを楽しみにしていました。行き先は温泉が多く、中でも熱海に行ったことは忘れられません。私の故郷には温泉がないため、みんなと一緒にお風呂に入るといふ経験が新鮮で、同僚との距離もより近くなったことを実感しました。

新型コロナウイルスが落ち着いたら、次は北海道に行ってみたいと思っています。ベトナムは温かい国なので、北海道の冬の寒さや雪の感触を実際に体験するのが楽しみです。

**将来に向かって進む**

藤栄設備の仕事はやりがいがあり、給料にも満足しています。社長の仕事に対する真摯な対応も勉

強になりますし、できるだけ長く働くつもりです。

今後の夢や目標についてはまだ考え中ですが、いずれはベトナムに帰って、家庭をもちたいと考えています。そのためにも、今は藤栄設備で一生懸命働いて、経験を積みながらたくさんお金を稼いで将来へ備えたいと思っています。

「前に進む。後ろへはいかない」がティエンさんの名前の由来。その名前のとおり、これからも成長を続け、将来に向かって前向きに突き進んでいくことでしょう。

**企業情報**

設立年：平成6年5月27日  
年商：2.8億円  
従業員数：27名  
(従業員19名、建設就労者4名、実習生4名)

※ 2021年3月時点

# 現場紹介

皆さんの現場を紹介するこのコーナー。  
今回は新宿歌舞伎町1丁目再開発計画をご紹介します！  
そこでの苦労と一緒に働くメンバーの魅力など、  
気になる現場が丸わかりです！



工務部 課長  
むらた こういち  
村田 浩一さん

**現場名** 新宿歌舞伎町1丁目再開発計画 **施工期間** 2020年8月～2023年1月

地下5階から16階までにかけての諸工事と、20階から44階までの偶数階のファンコイルの吊りこみ用鋼材取付けを担当しています。

この現場ならではの苦労しているところ

“**工具を分散して配置し、効率を上げています。**”

作業フロアが多いため、移動に苦労しています。移動の際は工事エレベーターを使っていますが、乗るためには長い間並ばなければいけません。さらに、工事エレベーターは5階と10階毎にしか停まらないため、間のフロアに行くためには階段で移動しなければならないのです。この労力を軽減するため、本工事では一般的な現場の3倍もの工具を用意しています。工具を上層階、中層階、下層階、というように分散して置くことで、工具を持つ移動を少なくすることができています。

天井墨出し！



藤栄設備と一緒に働いているメンバー

“**成長スピードの速さと、  
図面の違いに気づける  
鋭い感覚の持ち主！**”

みうら かな  
三浦 佳奈さん



入社5年目ほどで、施工管理を行う唯一の女性社員です。仕事では墨出しと、8～16階の現場確認を担当しています。成長速度が速く、墨出しはかなり高いレベルまで達しています。墨出しで特に肝心なのは、自身が間違っていないことに加えて、元の図面の違いにどれだけ気付くことができるかです。三浦さんは図面の違いに気づいて指摘してくれることが多く、とても信頼しています。

“**仕事覚えの早さと  
作業スピードがピカイチ！**”

フアンスアン アインさん



アインさんは技能実習の3年間を経て、現場にも詳しくなってきました。全ての業務を担当しており、主に地下の墨出しやボード開口、貫通処理などを行ってくれています。アインさんは仕事を覚えることが早いだけでなく、作業スピードもかなり速いと思います。私の印象ですが、当社で働くベトナム人の方々は皆とても器用です。それは、日本人が工事現場でしかやらないような作業も、日常の中で経験してきたからなのではないかと考えています。

“**現場には皆さんの力が集結している！**”

この2名以外にも下請けの協力業者の方々がいらっしゃいます。特にファンコイルの吊りこみ用鋼材取付けに関しては、全て協力業者の方に任せている状態です。さらに、別の協力業者の方には、1人でファンコイル吊り上げ後のダクトの接続を行っていただいています。このような協力会社の皆様の手を借りながら、日々工事に奮闘しています。



ファンコイル  
吊りこみ用  
鋼材取付け

## 最近のリフレッシュ法や 仕事終わりの楽しみ

2か月前に買ったNintendo Switchで遊ぶことです。好きなゲームは『ぷよぷよ』で、毎日20分ほど楽しんでいます。また、2人の子供とゲームをすることもありますが、基本的には負けてしまいます(笑)

# ヒヤリハット！事件簿

皆さんは日々の業務の中でヒヤッとした経験はありますか？  
改めてこれまでのヒヤリを振り返り、安全に作業ができるよう  
気をつけていきましょう！

ヒヤリハットとは……



1つの重大事故の背後には29の軽微な事故があり、その背景には300の異常(ヒヤリ・ハット)が存在するという、労働災害における経験則のひとつ『ハインリッヒの法則』。

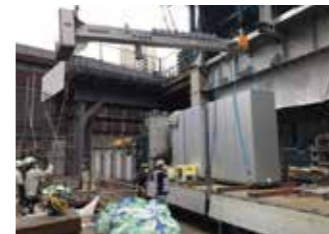
### 私のヒヤリハット

揚重作業をしていたのに気づかず  
建屋から出てしまい、  
鳶さんに怒られました。



もり た きょうすけ  
主任 森田 恭丞さん

いつも通っていた場所なので、何も考えずに通ってしまいました。現場というのは日々変わっていくのだと痛感しました。



#### この事象から学んだこと

現場は日々確認し、気を付けなければいけないということです。建屋から出るときは、一時停止して周囲や上部を確認することが身体に染み付きました。周りの人にも声掛けし、助け合おうと思います。

### 私のヒヤリハット

ボード開口を  
間違えました。



フアン アン アイさん

段差がたくさんあったため、レベル計算を間違えてしまいました。



#### この事象から学んだこと

ボード開口する前にも、一度確認するという事です。自分1人の失敗で、現場全員の仕事が止まってしまうのだという、責任の重さを感じました。その後、絶対に仲間迷惑をかけることを意識しています。

### 私のヒヤリハット

躯体壁にスリーブを入れる作業で、  
バランスを崩し転落  
しそうになりました。



きよた かいと  
清田 海斗さん

建築足場が狭く、スリーブもサイズが大きかったため、無理な姿勢で作業をしてしまったことが原因だと思います。



#### この事象から学んだこと

作業前に現地打ち合わせをし、やりづらい足場なら足場を盛り返るなど、無理な姿勢で作業をしなくて済むような状況を作らなくてはならないということです。忙しいときでも、現地打ち合わせや作業内容確認が大切だと改めて感じました。どうすれば安全に作業できるかを考え、話し合ってから作業に入るよう心がけていきます。

### 私のヒヤリハット

現場で工具を  
失くしてしまいました。



グエン ヒュウ ヒューさん

普段から工具の取り扱いと管理には厳重に注意していますが、その日はたまたま休憩時間を分割して取らなくてはならない状態でした。「少しの時間であれば」と油断し、工具をしまわずに現場を離れてしまったことが原因です。



#### この事象から学んだこと

どんなに短い時間でも、工具から目を離す場合は「絶対に片づける」ということです。とはいえ、つい忘れちゃうこともあります。そのため、休憩に入る前に必ず行うチェックリストを作り、欠かさず確認しています。それからは「絶対に仲間迷惑をかける」ということを意識して、きちんと対策を遂行し、徹底するようになりました。

Happy Birthday

4月の  
誕生日社員

4月13日 飯岡 富男 さん

4月の誕生日の方です！おめでとうございます！